

高橋さんの一年目ストーリー ～新入社員として働いてみて～

動画リンク: <https://youtu.be/bPQ3HJ63N24>

今回は「高橋さんの一年目ストーリー ～新入社員として働いてみて～」を学
びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があり
ます。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立ててください。

1. 自己紹介

私は、高橋 信夫といます。22歳です。
大学では経済学を学びました。お金の流れや会社のしくみを学ぶ中で、むずか
しい内容もありましたが、おもしろいと思える授業もたくさんありました。

出身は宮城県です。自然が多く、食べ物もおいしいところです。高校まで地元
で過ごし、大学は仙台の学校に通っていました。
就職をきっかけに、東京へ引っ越しました。東京に住むのは初めてで、最初は
駅でまいごになることもありました。

今は、東京のIT会社で営業の仕事をしています。営業とは、お客さまにサー
ビスを説明したり、話を聞いたりする仕事です。
この動画では、私が新入社員としてすごした一年間の経験をお話しします。日
本の会社で働く中で感じたことが、これから働く人のヒントになればうれしい
です。

2. 働く前に思っていたこと

大学を卒業して働くことが決まったとき、うれしさと同時に、いくつかの心配
もありました。アルバイトの経験はありましたが、会社で正社員として働くの
は初めてだったからです。

まず、「会社ってどんな場所なんだろう」と思いました。テレビや映画のイメージしかなかったので、実際はどんな様子なのか分からず、「もしとてもきびしい雰囲気だったらどうしよう」と心配になりました。

普段はスーツを着ることがないので、着こなしが合っているかどうかや、ネクタイをうまく結べるかが心配でした。

朝きちんと起きられるかも心配でした。大学のときは午後から授業がある日もありましたが、会社では毎朝決まった時間に出社しなければなりません。もともと早起きが苦手だったので、自信がありませんでした。

人間関係もうまくいくか気になっていました。先輩や上司とうまく話せるか、失礼なことを言ってしまうか、まちがった行動をしないかなど、いろいろと考えて緊張していました。

社会人になる前の私にとって、こうした不安はとても大きなものでした。でも今ふり返ってみると、その不安も、社会人としての一步を踏み出す大切なきっかけだったと感じます。

3. 入社してすぐのころ

会社に入って最初の一週間は、仕事を始める前の研修でした。「オリエンテーション」と呼ばれ、会社について知るための大切な時間です。

初日は、社長の話を聞いたり、会社のルールや考え方について説明を受けたりしました。でも、会社での自分の立場がまだよく分からず、不安な気持ちもありました。

次の日からは、社会人としてのマナーを学びました。あいさつの仕方、名刺の渡し方、電話やメールの対応など、学生ときには学ばなかったことばかりで、メモを取りながら覚えました。

一日中座って説明を聞くのは思っていたより大変で、午後になると眠くなってしまうこともありました。でも、会社の人たちはとてもていねいに説明してくれて、分かりやすいように何度もくり返して話してくれました。

また、自己紹介をする場面も多く、はじめはとても緊張しましたが、他の同期の姿を見て、少しずつ落ち着いて話せるようになりました。

この一週間はまだ仕事という感じではありませんでしたが、会社での行動の基本を学ぶ大切な時間だったと思います。

4. 電話、メール、会話のむずかしさ

会社での仕事が始まると、電話やメール、会話のむずかしさを強く感じました。学生のころは、ほとんど使わなかった言葉やマナーばかりだったからです。

電話の対応はとくに戸惑いました。相手の声が聞き取りにくく、名前や会社名を何度も聞き直してしまいました。話すスピードが速かったり、知らない言葉が出てきたりして、どう返事をすればいいのかわからないこともよくありました。

電話では、まず自分の名前と会社名を伝えなければなりません。話し方もていねいにする必要があります。私はメモを取ることに夢中になって、返事を忘れてしまうことがありました。でも、そのたびに先輩がやさしく教えてくれました。

メールの書き方にも苦労しました。言葉の選び方をまちがえると、失礼になることがあるからです。「了解しました」ではなく「承知しました」と書くなど、初めて知る表現がたくさんありました。

社内での会話もむずかしく感じました。会社ならではの言い回しや専門用語が多く、意味が分からず、とまどうこともありました。でも、まちがえても大丈夫でした。先輩たちは「最初はだれでもそうだよ」と声をかけてくれて、私は少しずつ覚えていくことができました。

5. 覚えることが多くて大変だった日々

仕事を始めてしばらくすると、「覚えることがこんなに多いのか」とおどろきました。毎日、新しいことが出てきて、頭の中がいっぱいになる日が続きました。

とくに、会社のパソコンの使い方を覚えるのには時間がかかりました。大学でもパソコンは使っていましたが、会社では専用のソフトや決まったルールが多く、操作や整理の方法も少しちがっていました。

次に、仕事の流れを覚えることも大切でした。どの書類を使い、誰に確認してもらい、いつ提出するのか。はじめは何もわからず、先輩にたくさん質問をしました。

社内で使われる言葉にも苦労しました。聞いたことはあっても、使い方がよく分からない表現が多く、調べながらノートに書いて、少しずつ覚えていきました。

でも、メモを取るだけでは覚えきれないこともありました。あとで見返しても意味が分からないこともあったので、大事なところは色を変えたり、書き直したりして、見やすく工夫するようにしました。

毎日、会社から帰ると疲れてしまい、何もできない日もありました。ごはんを食べて、お風呂に入って、そのまま寝てしまうこともありました。

でも、少しずつできることが増えてくると、うれしい気持ちもわいてきました。昨日より早く仕事が終わった、先輩にほめられた、お客さんの名前を覚えられた。そんな小さなできごとが、自信ややる気につながっていきました。

6. 初めての外の仕事

会社に入って一か月ほどたったころ、はじめてお客さまのところへ行く仕事に参加しました。

先輩といっしょにお客さまの会社へ向かいました。私は話さなくてもよいと聞いていましたが、名刺の渡し方やあいさつの言葉を、前日に何度も練習するほど緊張していました。

とうじつ せんぱい めいし わた すこ て
当日は、先輩のまねをしながら名刺を渡しました。少し手がふるえましたが、
なんとかうまくできました。名刺には自分の名前、会社名、仕事の内容などが
書かれていて、渡し方にも決まったマナーがあります。

うちあ せんもんてき はなし おお しょうじき わ ないよう
打ち合わせでは、専門的な話が多くて、正直よく分からない内容もたくさんあ
りました。でも、先輩の話し方や、相手の話を聞く姿勢を見て、社会人として
のふるまいを学ぶことができました。

わたし と はなし き せんぱい はなし き
私は、メモを取りながら話を聞いていました。あとで先輩に「ちゃんと話を聞
いていてえらいね」と言ってもらえて、とてもうれしかったです。自分が話せ
なくても、まじめに参加することが大切なのだと感じました。

7. やす ひ 休みの日のすごしかた

しゃかいじん やす ひ かた か がくせい
社会人になってからは、休みの日のすごし方が変わりました。学生のころは、
夜おそくまで起きていたり、昼まで寝ていたりしましたが、今は体を休めるこ
とを大切にしています。
へいじつ あさはや お しゅっしや あたま からだ つか よる ねむ
平日は朝早く起きて出社し、頭も体も使うので、夜になるとすぐに眠くなりま
す。そのため、休みの日はとても貴重に感じるようになりました。
やす ひ あさ すこ お かる あさ た からだ
休みの日は、朝は少しゆっくり起きて、軽く朝ごはんを食べてから、体のリス
ムがくずれないようにしています。そのあとは、映画を見たり、本を読んだり
してリラックスして過ごします。

ときどき さんぽ で や い いち
ときどき、散歩に出かけたり、ラーメン屋に行ったりすることもあります。一
人で出かけると、気分がリフレッシュできて、よい気分転換になります。
また、どうき なかま い しごと はなし なや きがる はな
また、同期の仲間とごはんに行くこともあります。仕事の話や悩みを気軽に話
せる相手がいることは、大きな支えになります。
やす ひ しごと かんが あたま
休みの日は、なるべく仕事のことを考えすぎないようにしています。ずっと頭
の中で考えていると、休んでいても疲れが取れないからです。
やす ひ げつようび すこ げんき おも
しっかり休めた日は、月曜日に少し元気が出ます。「またがんばろう」と思え
る力になります。

8. うれしかったできごと

仕事しごとをしていると、つらいことやむずかしいこともあります。うれしいこともたくさんあります。とくに1年目の私は、小さなできごとでも強く心にのこりました。

ある日、先輩せんぱいに言われたとおりに資料しりょうを作り、お客さまに説明せつめいをするチャンスがありました。話す内容を何度も練習して、ゆっくり分かりやすく話すことを心がけました。

説明せつめいが終わったあと、「とてもわかりやすかったです」と言ってもらえて、本当ほんとうにうれしかったです。

別の日べつ ひには、はじめて仕事しごとを一人ひとりでまかされました。不安ふあんでしたが、最後までやりとげたときに「安心してまかせられたよ」と言ってもらえて、自信じしんがわきました。

社内で書類しやないを提出しゅるい ていしゅつしたとき、「見やすくて分かりやすいね」と先輩せんぱいにほめてもらえたこともありました。自分じぶんではふつうにやったつもりでも、ほめられるとやる気きが出ます。

なかでも一番いちばんうれしかったのは、「ありがとう」と言ってもらえたことです。電話でんわで話を聞いて、すぐに対応たいおうしただけですが、「すばやい対応たいおうをありがとうございました」と言われたことが、心に残のこっています。

こうした言葉ことばや反応はんのうが、「またがんばろう」と思える力おも ちからになりました。小さなことでも、だれかの役に立てたと感じられることが、仕事のよろこびにつながっていると感かんじます。

9. 会社かいしゃで学まなんだこと

会社かいしゃで働く中はたら なかで、学校がっこうでは学まなべなかった大切なことを、たくさん知しることができました。とくに心に残のこっているのは、いくつかの基本的な考え方きほん てき かんがえかたです。

まず、「仕事しごとは一人ひとりでやるものではない」ということです。学生がくせいのころは、勉強べんきょうやレポートを一人で進めることが多かったですが、会社かいしゃではチームで協力きょうりょくして仕事しごとを進めていきます。一人ひとりでがんばっても、全体ぜんたいがうまく動うごかなければ意味いみがないと感じました。

だからこそ、「人と話すこと」が大切だと気づきました。最初は、先輩に声をかけるのも緊張しましたが、あいさつや返事を大事にするだけでも、関係がよくなって、仕事がスムーズに進むようになりました。

また、「わからないことは、わからないと言っていい」ということも学びました。まちがえるのがこわくて質問できなかったこともありましたが、思い切って先輩に相談すると「聞いてくれて助かった」と言ってもらえ、気持ちが軽くなりました。

「報告・連絡・相談」も、社会人にとって欠かせない大切な行動です。むずかしい言葉で話す必要はなく、自分の言葉で正しく伝えることが大事だと分かってきました。

こうした学びが少しずつ自分の中に積み重なって、今の自分の成長につながっていると感じます。

10. これからの目標

社会人になって、1年がたちました。この1年で、少しずつできることが増えてきたと感じています。でも、まだまだ学ぶことはたくさんあります。これから先、大切にしたい目標がいくつかあります。

まずは、「もっと自信を持って仕事ができるようになりたい」です。今でも不安になることはありますが、「前にもやったことがある」と思い出すと、少し落ち着けるようになりました。これからも経験を重ねて、自分を信じられるようになりたいです。

次に、「後から入ってくる人にやさしくできる先輩になりたい」です。私も1年目のころ、先輩たちにたくさん助けられました。今度は自分が、同じように声をかけられる人になりたいと思っています。

そして、「まちがえても前に進める自分」でありたいです。仕事では失敗することもあります。立ち止まらずに「次にどうするか」を考えていきたいです。

最後に、「まずやってみる」という気持ちを大切にしたいです。考えすぎて動けなくなるよりも、一歩でも動いてみることで、見えてくることがあると感じました。

この1年の経験をいかして、これからも成長していきたいと思っています。

「^{たかはし}高橋^{いちねん め}さんの一年目ストーリー ～^{しんにゅうしゃいん}新入社員^{はたら}として働いてみて～」はいかがでしたか。
コメント欄^{らん}から感想^{かんそう}をみんなに^{おし}教えてください。
それでは、また別の^{べつ}動画^{どうが}でお会^あいしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

